

「**すし**」
 「**梳櫛**を作れるのは、県内では私ぐらいのものです」と話される神付の田尻敏郎さん（86歳）。2年前農業を引退してから作業小屋を自分で建て、9歳から14年間名古屋へ奉公に出て覚えた**梳櫛**作りを始めました。道具はすべて手作りで竹を使った細かい作業をコツコツと続けておられます。

—— 梳櫛を作る田尻敏郎さん（神付） ——

人口の動き

— 8月末住民登録人口から —

世帯数	929世帯
人口	3,564人
転入	9人
転出	9人
出生	1人
死亡	2人

先月と比較して1人減
 昨年同月と比較して46人減

計

昭和60年度の財政事情

見込額

歳入
14億9,876万6千円

は自主財源

村税
1億4,73万8千円
9.9%

地方交付税
7億1,464万2千円

地方譲与税
1,909万8千円

自動車取得税交付金
1,760万円

50.1%

分担金・負担金
3,659万6千円
2.4%

国庫支出金
6,889万6千円

県支出金
2億3,952万円
20.6%

繰入金 2,053万円
繰越金 5,498万円
5.1%

村債
1億1,990万円
8.0%

その他
5,911万6千円 3.9%

総額 22億円の使いみち

一般会計は14億円

昭和六十年、村の一般会計

と国民健康保険・国保病院など
特別会計の予算執行状況（決算
見込額）がまとまりました。

一般会計は、歳入十四億九千
八百七十六万六千円に対し歳出

十四億四千七百十四千円で、
歳入・歳出差引五千六百十六万
二千円の黒字となり翌年度へ繰
越すことになりました。

この財政事情は、皆さんに村
政へのご理解とご協力を得るた
め、毎年公表しているものです。

一般会計の

歳入1.2%減・歳出1.0%減

昭和六十年年度会計決算は、あ
いかわらず厳しい財政状況のも
とで計画どおりの事業を遂行す

ることができました。

歳入は十四億九千八百七十六
万六千円で五十九年度と比較し
て一・二%の減、歳出で十四億
四千七百十四万四千円と同じく一
・〇%の減となりました。

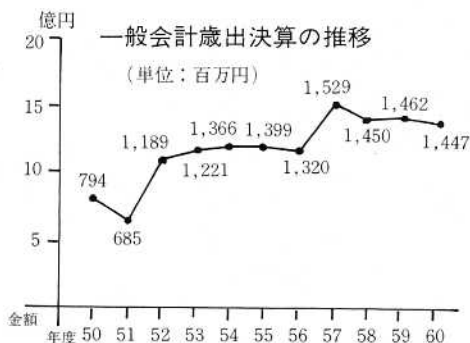
この減額となった主な理由は、
農林水産業費で県営畑総事業基
幹農道開設負担金、地区再編農
構事業（水稻育苗施設）、第三
期山振事業（日向多目的研修施
設）の増、また衛生費では病院
会計補助金が増、商工費で商工
会貸付金が増えたものの、民生
費で国保会計繰出金が減少し、
土木費では西尾橋架替、上親田
線舗装などが終了したこと、教
育費で中学校校舎改修費が減少
したことによりです。

歳出と歳入を性質別に見ると、
消費的経費（家庭では生活費に

あたる）は六〇・九%で、同規
模町村の五七・三%よりやや高
くなっています。

また、村の借入金に対する償
還金である公債費の割合も一六
・四%で、同規模町村の一三・
六%に比べ高くなっており、今
後の財政運営に与える影響は大
きいものがあります。

次に村の財政は、「自主財源」
と「依存財源」の二つに大別す
ることができます。このうち「自
主財源」の占める割合が高いほ



ほ場整備事業は、60年度で全体の34.3%が完了しました。

一般会



第三期山振事業の最終事業として建設された越原センター

役立っています。道の開設改良に役立っています。道の開設改良に役立っています。

ど財政的に余裕があるわけですが、本村では村税が九・九%その他と合わせても二・三%で一応の目安である三割自治より低い水準にあり、相変らず苦しい台所です。

国保病院

緊急時の患者に対する治療体制の確立に努めると同時に、医療機器の整備を行い、自動血圧連続監視装置と膀胱尿道鏡を購入しました。前年度と比較して外来で増えたものの、入院が減で大きく収益に影響しています。

老人保険

老人保険特別会計は、七十歳

特別会計

国民健康保険

六十年度では、基金に二千五百万円の積立をしましたが、二千七百三十三万三千円の剰余金が出ました。これは一般保険者にかかる入院が費用額で対前年比四五%減と大幅に減少し、見込より伸びなかったことによりです。

有線放送電話

独立採算性を原則とし、施設の維持管理に努めてきましたが五十九年度に一般会計から繰入を受けたことなどにより、使用料を月百円増額し、千百円としました。また、今年度から基金を設定し二百万円を積立しました。

分収造林費

分収造林は、村が契約によって民有林に造林を行い、伐採時に一定の比率で収益を配分する方式のものです。現在四か所三十五畝の分収造林が設定されており、枝打、除伐など保育に要する経費で、財源は繰入金です。

歳出
14億4,710万4千円

性質別

目的別

議会費

2,322万6千円

総務費

2億347万4千円

15.7%

民生費

9,318万5千円

衛生費

9,432万2千円

12.9%

農林水産業費

4億6,735万1千円

商工費

571万5千円

32.7%

土木費

1億2,984万4千円

消防費

5,958万8千円

13.1%

教育費

1億2,408万6千円

8.6%

公債費

2億3,703万1千円

16.4%

その他

928万2千円

0.6%

人件費

21.2%

物件費

7.8%

扶助・補助費

14.3%

普通建設事業費

36.7%

公債費

16.4%

その他 3.6%

特別会計 (単位：千円)

国民健康保険	国保病院	老人保険	有線放送	分収造林
▶歳入額 267,451	261,233	191,488	20,537	84
▶歳出額 240,418	256,840	188,216	17,903	84

お年寄りに温かい心を

九月十五日は「敬老の日」。この日から二十一日までの一週間が老人福祉週間です。これは、多年社会のために尽くしてこられたお年寄りを敬い、その長寿を祝うとともに、国民みんなが老人福祉についての関心と理解を深め、だれもが迎える老後の幸せのため、みんなの力で老人福祉対策の強化をはかっていこうとするものです。

村には現在、六十五歳以上の人が七百三十人。これは総人口の二〇・五％に当たり、国のレベルは一〇・三％ですから国の水準より十五年から二十年高齢化が進んでいるといえます。そのうち八十五歳以上の人が七十三人おられます。

しかし「身寄りがいい」「子供の仕事の関係」などの理由で、ひとり暮らししている人が三十一人、寝たきりの生活をされている人が二十五人おられます。高齢化社会を迎えた今日、老人福祉の問題は、すべての人々の考えるべき重要な問題となっています。

人口の高齢化は現在、家族の

あり方をはじめ、地域社会の中においてさまざまな問題が提起されており、将来の生きがいのある高齢化社会への対応として、村ではお年寄りの不安や悩みを解消し、幸せな老後を送っていただくこと、次のようないろいろな福祉施策を実施しています。

充実した老人福祉対策を進めていきたいと考えています。

村のおもな老人福祉対策

▽老人クラブ補助金 村内の七つの老人クラブの活動費として四十六万円を補助。また会誌「白寿」の発行費四十六万円を補助。

▽老人保健制度 お年寄りの医療として七十歳以上（寝たきりの場合は六十五歳以上）になると「老人保健制度」でお医者さんにかかることになり

ます。役場が交付した「健康手帳」と「医療受給者証」それに各保険証を、病院や診療所の窓口提出すれば、外来で一か月四百円、入院は一日につき三百円の個人負担ですみます。

▽老人健康診査 病気の早期発見、早期予防を目的に四十歳以上を対象に成人病予防検診の中で推進しています。

▽ねたきり老人生活用具貸与 ねたきりの老人にギャジベツド（特殊寝台）、エアーマットを無償で貸与するもの。

▽独居老人有線放送電話使用料の補助 七十歳以上の独居老人に対し、毎日定時に役場職員が安否の確認の電話をするほか孤独感をやわらげるもの、これらの有線放送電話利用料は公費負担

▽在宅老人短期保護事業 ねたきり老人などの介護者が冠婚葬祭などで介護できない場合、一時的に老人ホームなどへ保護する制度で、入所費の三分の二相当を公費で負担。

私は退職した年に、近くの雑木山が手に入りました。それから二十年。整地、植付け、下刈り、枝打ち、間伐などほとんど一人でやってきました。

盆栽を趣味とする人は、盆栽



▽独居老人慰安事業 ひとり暮らしのお年寄りをお招きし、食生活改善推進協議会員の手作りの料理を囲んで、村長をはじめ、各世代の皆さんが懇談する。

▽家庭奉仕員の派遣 寝たきり、ひとり暮らしなどで日常生活の用をたせない老人の家庭を訪問し、お世話をするもの。このほか、敬老事業として、毎年九月に数えて八十八歳になられる人と九十五歳になられるお年寄りを村長が訪問し、記念品を贈呈して長寿を祝っています。

家にいて何となく頭が重いと感ずるときでも、山へ行つて下刈りをしたり、枝打ちなどをやっておれば、重い頭も軽くなります。近ごろ森林浴という言葉

の効果だといえるでしょう。初夏のころ、枝打ちで見通しがよくなり、下刈りによって笹の生え揃った林にささゆりが点々と咲いているゆかしさは、山を愛する者のみ知る楽しみです。

を愛育するように、植林を趣味として暮らしてきました。何千本かの檜が、すくすくと伸び行く姿を楽しみ、山の空気を十分に吸うことが健康の第一条件だと思っています。



長寿会長
桂川政一さん
(79歳)

わたしは生きがいと楽しみ

敬老の日を機会に、村の老人クラブ会長さんに「わたしの生きがいと楽しみ」について語っていただきました。



高砂会長
安江錠太郎さん
(76歳)

私としての人生行路も黄昏で来たこの時点、明治に生まれ、大正に育ち、昭和初期、時代の変転極まりない日本史の一頁によくも遭遇したものだと思う。昭和四十年後期からの我々老人としての社会・子としての務め、

親としての責任を果たしながらも勿体無い程の現在である。

静かに足元を見つめると、八十路喃喃とし、余生幾何なりや、自信の程は皆無である。私の生きがいと楽しみは、まず身心ともに健康の保持、生涯勉強だ。あの三歳の幼児と遊び、病床の先輩、同友を訪れての談笑。

多くの人々に喜んでもらえる言行のできるよう心掛けています。これら私の楽しみの一つ、がらがら爺さんといわれたらその日を楽しく「日々は好日」「急がず休まず」終着駅も近いこと故まず健康保持、これ一途に日々を重ねたいと思っています。



寿会長
今井透さん
(76歳)

今年喜寿の年齢を迎えました。過去をふりかえると、今日まで幾多の人の力で私なりに幸福な人生を送って来られたことを心から感謝しています。体力と気力の衰えた現在では、次のことに気をつけて日常生活を送りたいと考えます。

①余り人のためになることはできなくても、人に迷惑をかけないようにしたい。②相手に少しでも不快な感じを与える言動に注意することが必要で悪口は

慎みたい。③人の意見を尊重することが大切で自己反省の資料にしたい。他人はよい人だと信ずる。④相手の考えをよく聞き、自分の一人よがりにならないように気をつける。少しでも人に嫌われない余生でありたい。



清楽会長
安江清志さん
(68歳)

健康で老後の余生を楽しく送ることは、だれもが望むことであると思います。そのためには趣味を持つことが大切です。私は十余年前に、村の文化協会所属の詩吟クラブに入会して、近代詩吟の勉強を続けています。相互の和と修養及び健康の増進と心身の鍛錬を目的とする詩吟を、多数の同志と一堂に会して共に吟じ、共に詠じて心身を養うことが私の楽しみの一つです。



明青会長
小池正二さん
(71歳)

これといつて取り上げるようなことはありませんが、高齢化社会を迎えて老人とはいいいながら安閑としていられないような

気がします。

六十五歳以上が老人だと国連が定義したのは、人生五十年時代の昔のことで、人生八十年の現代では六十五歳以上になっても扶養される側に入ることはありません。

自分の体力に依じて、社会の支え手になったり、社会に迷惑を掛けないように妨げにならないよう、健康で自分なりに社会のお役に立ちたいと日ごろから思っています。これが私の生きがいです。



常磐会長
藤井常雄さん
(76歳)

昭和五十八年夏、フットしたことで十日間程の病院生活を経験しました。心臓病治療中であり、翌春は肺気腫などの成人病により、長期治療に追い込まれました。

医師の指導による薬治療と体力低下防止のため軽い運動で、ということだと思ひ悩んだ末、歩くことでの効果を考え実行しました。歩くことは心臓病には相当重圧を及ぼすようですが、また肺気腫の加速も考えられ、上り坂での重圧は私にとっては肺気腫の方が強かったかも知れません。

休息によって、これを避けるようにし、一方定期的な検診を受けることと、医師の適切な指導のおかげで順調に経過し、重大な結果の招来を先送りできたことをありがたく思っています。

老人保護法の適用など、ありがたい制度のおかげであると共に社会福祉事業の重大性を身に泌みて痛感しています。



福寿会長
安江徳市さん
(77歳)

人生わずか五十年の時代も、今は男女平均七十七、八歳という長命の時代となり、私も平均寿命をはるかに上回り、あと半月程で七十八歳の誕生日を迎える年となりました。

私の望むことは、いつまでも健康でありたいことと朗らかな笑顔の多い生活を送りたいということを願っています。

健康保持のために毎朝五時に家を出て、約三十分ほど歩け運動をしています。昔から有毒素といわれた酒やタバコは、十五歳のころから飲んだり吸ったりしていましたが、まだまだ健康で老人クラブのお世話もさせていたでいます。私の生きがいは、健康と朗かな毎日を送ることが一番の願いです。

のこしのお
太鼓茶檜
むら

威勢よく祝い打ち



一式そろった組太鼓を使って威勢よく打ち鳴らす保存会員

保存会の創立と組太鼓一式の購入披露式

恒例の行事となった夏のイベント「ふるさと夏まつり」が十四、十五日の両日役場前広場で開かれ、多くの楽しい催しにお盆帰りの帰省者も加わり、ふるさとのふれあい広場はにぎわいました。

夏まつり初日の十四日午後七時から、同会場で檜茶太鼓保存会（今井邦光会長）の創立と組太鼓一式の購入披露式が行われました。

この檜茶太鼓は、村の特産品のお茶とヒノキから命名し、昨

年の夏まつりで産声をあげて以来、檜茶太鼓研究会が村おこしの一環として「打ち出す響きで村に活力を」をスローガンに村内外の催しに積極的に参加し、東濃ヒノキと白川茶を紹介するとともに、東白川村独自のリズムで彩りを添えてきました。

指導者は、関市の関刀鼓さんですが、今までの太鼓が関市や中津川市の保存会からの借り物だったことから、今年の四月に後援会が発足、自前の太鼓購入をめざして寄付金を募ったところ、これまでに二百七十余万円が集まり、村からの助成金七十万円を加えて組太鼓一式をそろえました。

この一式はヒノキの桶胴（三尺二寸）が一基、長胴四基、付締太鼓四個。披露式では役員の紹介に続いて今井会長をはじめ会員二十五名が出演。青年と一般による「まな鶴太鼓祝い打ち」でスタート。

この後、中学生が「若鮎太鼓」と「ハナノキ囃」を披露。青年による「茶摘み太鼓」が続き、一般の「檜太鼓」「出陣太鼓」「白川清流登り打ち」で締めくくられ、その勇壮豪快な音響とだいたい観衆は満喫しました。

同保存会では、現在越原にしかない中学生チームを神戸、五加にも作り、ふるさとの郷土芸

好評

ふるさと朝市

夏まつり会場で、十五日朝六時三十分から初の「ふるさと朝市」が開かれました。これは、むらおこしの一環として行ったもので、お盆帰省客で村が一番にぎわう夏まつりの機会をとらえ、都会に住む人に村のよさを知ってもらい、合わせてお年寄りの生きがい対策、婦人の家計対策の一助とすることが、この朝市のねらいです。

ナス、インゲン、トウモロコシ、フキ、カブトムシ、わらぼうし、アマゴなどが出品され、店前に売切れるところもあり、にぎわいました。



能として伝承に力を入れていくほか青年の会員も増やしていく考えで、皆さんから愛され活用される保存会づくりに努力しています。

けいじん

■戸籍の窓 八月敬称略



誕生おめでとう
ございます

（陰地）稲垣 進 久美
八穂子（長女）



おくやみ
申しあげます

安江志げよ 86歳（下親田）
安江 くよ 88歳（桝山）

■善意の寄付—敬称略

【植樹指定寄付】

現金三万六千八百円—神戸小さようなら会

【社会福祉指定寄付】

現金八千円—下親田婦人会、同現金三万円—安江和男（下親田）

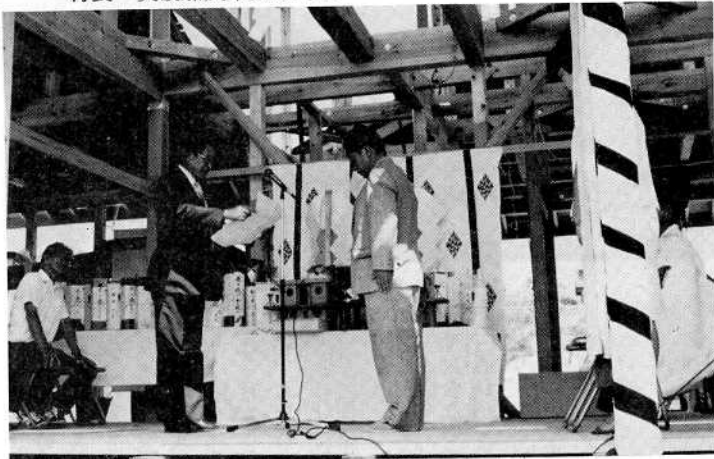
【小学校へ】

児童図書二十冊—寺坂奈保美（下野）、お茶—神戸茶生産組合

■工事入札結果の公表

- ①は入札期日②は落札金額
- および落札業者③は指名業者
- ◇西ヶ洞林道開設工事
- ①八月二十六日②千三百二

10万円相当の通し柱2本の目録を宮田さんに贈る
村長—美濃加茂市太田町で



産直住宅「東白川の家」宮田邸の全景



檜茶太鼓の演奏



広報八月号でお知らせした特産の東濃ヒノキを使った産直住宅「東白川の家」の施工が決まり、八月三十日、美濃加茂市太田町で第一号の贈呈式が行われ、村長から直接注文主の宮田昭吾さん（岐阜市）に10万円相当の柱を贈呈する目録が手渡されました。

第一号は岐阜市の宮田さん

産直住宅「東白川の家」

県では、本年度から県産木材需要拡大事業の一環として、産直住宅注文者を対象に10万円相当を補助する制度がスタートしました。

しかし、県内者については対象外となるため、村では独自の補助制度を設け範囲を県内にも広げました。制度の対象は、県産木材を六〇%以上使った木造住宅で、10万円相当の東濃ヒノキの柱をプレゼントするもの。

贈呈式には、村長、商工会長、村木造建築協同組合理事長、工

事関係者らが出席。神事のあと村長が「東白川産直住宅のご注文ありがとうございます。柱の寄贈第一号です」とあいさつ。注文者の岐阜市在住、岐阜大学医学部教授宮田昭吾さんに長さ六尺の通し柱（四・五寸）二本の目録を手渡しました。

続いて商工会長、建築協同組合理事長から記念品贈呈、檜茶太鼓で祝い、もちなげで閉めました。宮田さんは「東白川村で二十年間保健衛生の研究活動をしてきた関係で注文したが、とにかく良心的にやっていただいています」と話しておられます。

商工会、建築組合ではこのほか、完成後一年の間に二回に分けた特産品の直送や、完成一年後の村内イベントへの招待などを計画しています。

10万円—榎立保土木③山田土建（榎）、榎立保土木、榎マルト土木、（榎）丸登建設

■今年15人を高齢者訪問

九月十二日、村長が敬老の日を前に村の高齢者を訪問し、長寿を祝福するとともに今までのご苦労をねぎらいました。

（年齢九月一日現在）

- 中谷 安江 李市（94歳）
- 中通 早瀬もろの（94歳）
- 西洞 島倉 みの（93歳）
- 日向 田口壱之介（93歳）
- 曲坂 菊田虎太郎（87歳）
- 大明神 島倉 せし（87歳）
- 中通 今井 ため（87歳）
- 陰地 金尾秀之介（87歳）
- 大口 今井 博（87歳）
- 中谷 安江まさの（87歳）
- 下野 熊崎すゑ（87歳）
- 曲坂 村雲 為市（87歳）
- 平 安江もつゑ（87歳）
- 神付 安江 富郎（87歳）
- 神付 安江よ志江（87歳）

■訂正とお詫び

広報八月号の記事中、四ページ戸籍の窓の欄で「今井克彦」は「今井悦郎」、「有香」は「有香」。七ページ郷土歌舞伎十周年記念公演「九月二十九日」は「九月二十三日」の誤まりでしたので、お詫びして訂正いたします。

第7回村民運動会を開催

と き 10月10日(雨天12日) ところ 東白川小学校運動場

準備運動 ①⑤

運動会やソフトボール大会などでケガをする部位で多いのは足関節筋や膝です。運動会にそなえて事前の準備として脚部の運動を中心に体を動かしましょう。

運動会など急いで走ったために、翌日からの仕事に差しつかえたり、ひどい場合にはアキレス腱を切ったりということがあります。普段から体力づくりを心がけておくのが最良の対策です。

参加が決まってから運動をはじめると、直前になってやっとなし体を動かしておこうというの、やらないよりはましで、それが運動を続けるキッカケとなります。

運動会にそなえて…

いよいよ「スポーツの秋」

この十月十日(体育の日)に小学校運動場で第七回村民運動会を開催します。八年ぶりとなったこのスポーツの祭典。五加、越原運動場の開設とともに地区単位の運動会が開かれるようになり、陰をひそめていました。むらおこしが盛んに叫ばれる現在、お年寄りから子供まで一

同に会して、スポーツを楽しみながらよりよい仲間づくりの場としていただければ、ひいては明るい村づくりにつながることを信じます。

当日は「集落対抗種目」、「フリー種目」、「団体別種目」を紅白に分かれて競います。今から家庭や職場で予定ください。

準備運動として、腰、膝や足首をよくまわし、アキレス腱や大腿前面の筋もよく伸ばすストレッチ体操を取り入れて行ってください。

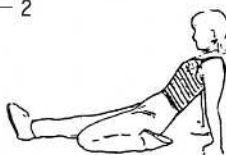
⑥⑧走った翌日に脚の付け根部分が痛むことがあります。普段高く脚を上げることが少ない人が脚を上げて走るとよく起こることです。そこで脚を伸ばしたまま振り上げ、その脚をかかえる形で両手を打ち合わせます。

リズムカルに左右交互に行うようにします。腕の運動で腕や上体に刺激を与えてからスクワットジャンプ⑧で脚の運動をします。

整理運動にもストレッチを取り入れてみましょう。こうして、十月十日の体育の日「村民運動会」にそなえましょう。

運動会などのためのプログラム

図-2



⑤太腿前面のストレッチ(20秒)



⑦膝つき腕立て(10回)



⑧スクワットジャンプ(10回)
この姿勢からジャンプして



⑥足を左右交互にあげながらその下で両手を打ち合わせる(20回)



頭の上で手をたたき、足を前後した
⑧の姿勢をつくる。



①腰の回転



③足首の回転



②膝の回転



④アキレス腱をのばす
ストレッチ(30秒)

図-1

スポーツの 話題

よく健闘、総合で二位 第17回加茂郡陸上競技大会



八月十日、加茂郡富加町双葉中学校で開かれた第十七回加茂郡陸上競技大会は、男女合わせて二十一種目に郡下七か町村の精鋭二百四十五人が参加。猛暑の中で熱戦を展開しました。

本村からは、二十二人の選手役員が出場し健闘した結果、総合で堂々二位に入賞いたしました。

本村選手は、大会当日の暑さに負けないようにと七月から週二回の合同練習をして出場。一

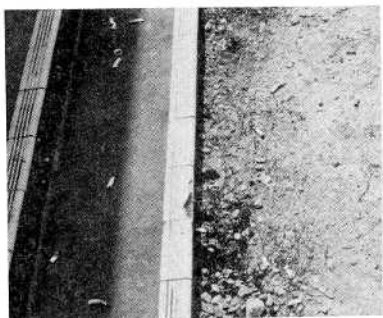
公共施設を もう一度見直して！

スポーツ活動や文化活動がさまざまな場で活発に展開されるようになってまいりました。人生八十年時代に向かって、一人一人が生きがいを持ち、明るく健康で毎日を送ることは素晴らしいことです。

ところで、最近こんなことがあります。総合運動場第二倉庫（旧研修館）入口の窓ガラスが割れた状態のまま放置されていました。施設の利用はほとんど満杯の状態です。施設を利用

していただけることはありがたいことですが、このところ体育施設など公共施設にタバコの吸い殻や空き缶などが投げ捨てられたままになっていることが多く見受けられるようになってきたことも事実です。

たいへん残念なことです。一人一人が気を付けてマナーを守り、公共物を大切にすることを、原点に返ってもらう一度見直してみたいものです。毎年六月に開かれる青少年の主張大会では、



公共施設の玄関前に散乱するタバコの吸い殻

人一人がその成果を十分に発揮することができました。本村選手の結果は次のとおり（敬称略）

◇優勝 ▽壮年走幅跳―松岡公男（大明神）▽家庭婦人六十メートル―安江由美子（柏本）▽一般女子百メートル―安江同走幅跳―安江投―安江久美子（宮代）▽全女子四百メートル―田口忠美（平）松岡良佳（日向）、安江由美子、安江

◇準優勝 ▽壮年百メートル―古田勝彦（平）▽家庭婦人走幅跳―安江千登勢（黒淵）▽一般男子砲丸投―安江政辰（平）▽同五 kilogram―安江宏（神付）▽同走高

七月二十七日

美濃加茂市を中心にして開かれた第十八回可茂地区体育大会のバスケットボール一般男子の部で、本村から出場のチーム（島倉宏之部長十三名）が二年ぶりに優勝いたしました。

第18回可茂地区体育大会 2年ぶり優勝 バスケット一般男子

この日、バスケットボールは御嵩町海洋センター体育館を会場に可茂地区代表の四チームがうだるような暑さの中で熱戦を

跳―安江宏

◇三位 ▽壮年三千メートル―今井保都（大沢）▽家庭婦人走幅跳―安江由美子▽一般男子八百メートル―安江宏▽一般女子二百メートル―松岡良佳

第三十回加茂郡体育大会

総合成績三位

六月一日に行われた体育大会と今回の陸上競技大会を合わせた第三十回加茂郡体育大会総合成績で本村が三位に入賞し、陸上競技大会の閉会式上で表彰されました。出場した選手がよく健闘した結果です。

展開しました。特に本村チームは、一回戦地元可茂チームと対戦し、延長戦のうえ破り、決勝戦では美濃加茂市チームと対戦しました。

決勝戦は、残り四分のときに八点（四ゴール）差があり不利な試合運びに見えましたが、最後までおぼろしくあきらめず頑張り抜いて、残り数秒のところまで逆転、劇的なフィナーレでした。

このバスケットチームは、九月二十八日、飛騨地区で開かれる第三十一回岐阜県体育大会に出場いたします。皆様のご声援をお願いします。

お知らせ



十五夜

詠進歌の受付

歌会始めのお題は「木」

昭和六十二年歌会始めのお題は「木」と定められました。(注) 樹と詠んでもよい。

詠進歌の詠進要領は次のとおりです。

①詠進歌は、自作のもので一人一首とし、未発表のものに限ります。

②用紙は、半紙(和紙)とし、毛筆で自書してください。

(約24センチメートル)

(書式図)

郵便番号・住所 ふりがな 氏名 生年月日 職業	木
-------------------------------------	---

(約33センチメートル)

③書式は、半紙を横長に用い、右半分にお題と歌、左半分に郵便番号、住所、氏名(本名、ふりがな)生年月日及び職業を縦書きで書いてください。(書式図参照)

④詠進の期間は、九月一日から十月十一日まで。郵便のあて先は次のとおりです。〒100東京都千代田区千代田一番一号 宮内庁(封筒に「詠進歌」と書き添えてください。

そのほか詳しいことを書いた詠進要領は役場企画財政係(有線二一八五番)にありますのでご希望の方は申し出てください。

九月は心身障害者雇用促進月間です

心身障害者の雇用率一・五%が法で定められています。雇用率を達成していない企業は、ぜひ心身障害者の雇用について考えてください。

心身障害者の雇用は法で定められているだけでなく、企業としての社会的義務であると考え

られます。

安定所の紹介で心身障害者を雇用されますと各種給付金の対象となります。

対象給付金……特定求職者雇用

開発助成金

採用した心身障害者に支給した給料の二分の一から四分の一を十二か月から十八か月間におたり、企業へ支給します。

その他、各種の給付金制度があります。詳しいことは美濃加茂公共職業安定所(☎〇五七四一・二五・二一七八)へお問い合わせください。

わかちあう幸せ

赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金運動は、皆さんに社会福祉についての理解と関心を深めていただき、皆さんの善意を結集して、民間社会福祉事業に必要な資金を集めるための国民たすけあい運動で、十月一日から三か月間、全国で展開されます。

この運動は、ことしで四十回を迎えますが、最近の社会福祉特に障害者や寝たきり老人のための対策など、地域を中心とした福祉サービスへの要望は高まる一方です。昨年は、皆さんから本村の共同募金会に目標額を

ら本村の共同募金会に目標額を上回る三十二万六千余りが寄せられました。今年は、目標額を三十万円にこの運動を推進します。赤い羽根は事務嘱託員を通じて各戸にお配りいたしますので、ぜひあなたの善意を「赤い羽根」に託してください。

秋の全国交通安全運動 9月21日～30日

県内の交通事故死亡者は、八月一日現在で百一人。昨年の同期に比べ七人増加し、今後さらに増える予想されます。そこで悲惨な交通事故に歯止めをかけるため、九月二十一日から三十日までの十日間、地域ぐるみで守ろう子供と老人をスローガンに「秋の全国交通安全運動」が展開されます。

期間中は、次の三項目を重点に推進します。

▽シートベルト、ヘルメットの正しい着用の徹底

▽歩行者や自転車利用者の事故防止

▽三輪車を中心とした無謀運転の追放

シートベルトの着用率は県内の一般道路で四八・一%と全国平均を下回っています。なおヘルメットもその効果が高いこと

から着用の徹底を推進します。

10月12日～18日

行政相談週間

国、県、村や公社、公団などが行っている仕事に、苦情や要望などをお持ちの方は、次のよう行政相談所を開設します。

でお気軽にご利用ください。相談は無料で秘密は厳守されます。

▽とき 十月十三日(月)

▽ところ ●越原地域集会所

9時～11時30分
●五加センター

▽相談員 行政相談委員
金尾竹雄(陰地)

なお、当日都合の悪い方は金尾さんの自宅で常時相談に応じております。

職員の人事異動

8月6日付け

現在進めている企業誘致への対応と、営農対策・開発プロジェクト班の強化のため、この八月六日付けで人事異動を行いました。異動した職員は次のとおりです。(一)内は前職。

▽総括課長兼建設課長―今井哲(総括課長)▽開発局長―藤井茂樹(建設課長)

ふるさとの花

⑨

クズ (葛)



クズは、山野のところがまわす群生するマメ科クズ属のつる性の多年草で、秋の七草の一つです。

粗毛のある褐色の強い茎が木をよじ、地を這って、さかんに成長します。繁殖力が極めて旺盛で、樹木にからみつき枯死させることもあります。

夏に赤紫色の蝶形花をちようど藤の花を逆さにしたような総状につけ、下の方から咲き出し、順次咲き上ります。大きな葉に

隠れがちですが、初秋のころまで咲きつづけて、けっこう美しいものです。秋風に裏返る葉のさまの趣が深いので、昔から、

「うらみ葛の葉」といいます。

根は肥大し、一メートル以上にもなります。葛根湯の原料として大事な生薬です。また、クズの根からは良好なデンプン(葛粉)がとれ、くず湯、くずもちなどにします。

昔は、クズの茎皮から繊維を採り、葛布を織って着物にしました。

した。また、葉を家畜の飼料にしました。ウマノボクモチ、ウマノオコワなどという別名は、馬が好んで食べるので付けられたものです。東白川村では、オゾバとか、ゴゾバとかいいます。夕焼けの空の下で、ウサギの餌にクズの葉を摘んだ遠い日の思い出がよみがえります。

和名「クズ」

は、クズカズラの略で、一説に大和国国栖(き)の人が葛粉を作って売り歩いたことからできたといわれます。

クズ属は、アジアの熱帯を中



心に分布して約十五種あるそうですが、日本には一種だけです。これは余談ですが、いつの日か北アメリカに飼料とするため輸出されましたが、今では野生化して猛威を振るっているそうです。

今月の図書



ひとりの時間

森 禮子著

ひとりで生きられない人間は、二人でも生きられない。愛を知らない人は、多くのものを見失う。孤独を見つめ、孤独に耐えうる人間が出合う限りない心のときめき。人間の生き方はさまざまであるが、真の自己自身を開花させる生き方を選択することは、それこそ蛇のような慧さと、鳩のような素直さを必要とするでしょう。そうした思いを託して書かれた人生論風のエッセイ集がこの本です。

長い命のために

早瀬 圭一著

高齢化社会をどう生きるか——。母ひとり子ひとりで育ちながら、諸般の事情から母親を老人ホームへ入所させざるを得なかった一新聞記者が、自らの体験を基に福祉事務所を徹底取材。

老人福祉関係者たちの熱意と困惑、彼らが日々直面する“高齢化社会”の具体例とさまざまなデータを織り込み、人間にとって死がまぬがれ難いものである以上、そこに至る老齢もまたさけて通ることのできない道であることを、記者の目をとおして読者の心に新たな感動をあたえます。

今月の料理



ベーコンサラダ

【材料】四人分

レタス5個、トマト1個、卵1個、ベーコン2枚、サラダ油少々、レモン1個、パセリ少々、塩、こしょう

【作り方】

①レタスは冷水につけ、充分水を吸わせてから水けを切る。

②トマトは湯むきし粗いみじん切りにする。卵は堅ゆでにする。

③器にレタスをしきりトマトを盛り、卵を乱切りにしてのせる。

④ベーコンは一センチ幅に切り、フライパンに油を熱しカリカリになるまでいため、レモン一個を絞り込み、塩、こしょうで味を調え③の上にかけ、パセリのみじん切りを散す。

下刈り作業で汗を流す東中3年生ら
新集村有林で



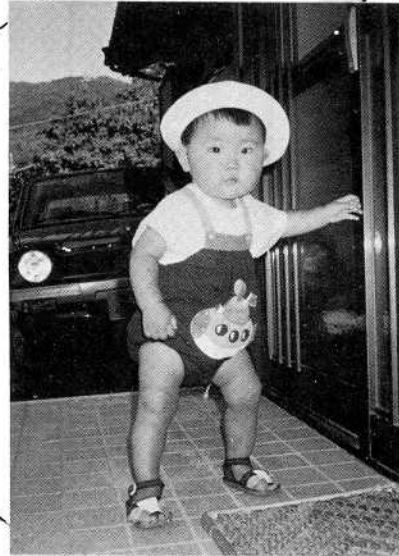
カメラ
の目

東中3年生親子 下刈り作業で汗

8月16日、東白川中学校3年生と父兄ら約100人が新集村有林で下刈り作業を行いました。これは、卒業記念品の資金確保と親子そろって汗を流して働きながらふれあいを深めることを目的としたものです。

この村有林は、59年5月に環境緑化大会、村植樹祭が開かれた会場で約6ha。当日はかまや下刈りがまを持った生徒たちや下刈機を持った父兄が、現地に集合。日程や作業上の注意など聞いた後、一斉に下刈りに取りかかり「暑い」「えらい」を連発しながらも汗して働く喜びを感じとっていました。

桂川亜希さん（一歳〓日向）
明義さん・ちとせさん長女



すくすく育
て

まきのゆりか
（五歳〓大明神）
越原保育園



子供の作品



あなたの作品
をお寄せください。

・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
・毎月末までに、神土伊藤重雄宛に出してください。

抱き上ぐる曾孫の瞳よく澄みて霞簀の蔭に一家和みぬ
恐竜が校舎を毀すも夢ならず見る見る崩る真夏の庭に
○敗戦の憶ひ新たに黙禱す耳に寂けく鳴く蟬しぐれ
公式参拝是非論かなし吾が兄も睡り給へり靖国の宮
稜線に影を落して雲の飛ぶ開田高原を遙か真下に
○汗ばみて仲々脱げぬ野良着シャツ嫁の手借りてやうやくに脱ぐ
はらからは皆引揚げて布団乾す我が家の夏はもはや終りに
○めぐり来し敗戦の日よ夏蚕飼ふ亡き父の背ににじみ居し汗
打ち鳴らす檜太鼓は夏の夜の空揺すぶりに轟きわたる
○毀さるる校舎の隅の楽書の相合傘の人ら何処に
言葉にはならぬ片言いふ孫も己れを徹し力みあるなり
降りる人も乗る人もなきバス停をいくつも過ぎて過疎の村なり
盆踊最高潮の輪の中に吾れも居たりきさすが疲れて
孫ら伴れ散歩の道へ野の花に群がる蛸蝶に逝く夏惜しむ
暑苦しき葉月中旬昼下り蠅と遊べりそこはかとなく
ばけ除けと楽しみてする刺し手毬出来栄えはまだ未熟なれども
篠島の浜近く佇ち查き日にこの鳥語りし亡き友偲ぶ
夕立の激しき雨に小雀は巢に戻れずと縁に来て鳴く
まろき実の李は熟れてみどり児の柔肌似るも何か切なし
○梅雨暗れの藪に光れる蜘蛛の巣に巻かれて動けぬ揚羽蝶一びき
荒き世のすがたなりけり吾が母校ぶち毀されて木屑の山ぞ
開け放ち寝る山棲みの気易さの枕を照らす夜半の稲妻

今井 良吉
伊藤 重雄
安江 香
安江 幸
安江 竜玉
早瀬 勇造
伊藤 美枝
三戸 きり
安江 澄
田口 一枝
安江 節子
古田よし江
安江すみよ
安江 守平
村雲 うめ
田口 恵津
今井 かな
早瀬 久子
小池 弘子
今井 惣十
山川 洌
田口 良三